

## 第13章 高齢者のための事業（高齢福祉課）

### 1 生きがい対策事業

高齢者の生きがい対策として、生きがいづくり、高齢者団体の育成、老人福祉センター及び老人憩いの家に関することを行っている。

#### (1) はつらつシニアパスの発行

市内在住 65 歳以上の高齢者を対象に、市内全てのバス路線を自由に利用できる「はつらつシニアパス」を廉価で発行する。

発行枚数 13,908 枚

#### (2) 敬老祝金品の贈呈

長年にわたり社会に貢献してきた高齢者に対して、長寿をお祝いするために、敬老祝金品を贈呈している。

表3-137 敬老祝金品贈呈者数

(人)

区 分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
88 歳	1,285	1,223	1,388	1,445	1,651
99 歳	93	83	88	85	106
100 歳	38	59	63	65	65
計	1,416	1,365	1,539	1,595	1,822

表3-138 敬老祝金品の内容

区 分	祝 金 額 等	備 考
88 歳	5,000円相当の祝品	平成 18 年度まで祝金10,000円
99 歳	祝 金 10,000 円	平成 17 年度まで祝金30,000円
100 歳	10,000円相当の祝品	

#### (3) 高齢者健康のつどい

高齢者の健康維持向上、世代交流を図るため、ゲーム方式の運動会を年1回開催している。

表3-139 高齢者健康のつどい参加者数

区 分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
開 催 日	6 月 14 日	6 月 20 日	6 月 19 日	6 月 17 日	6 月 16 日
会 場	総合体育会館	総合体育会館	総合体育会館	総合体育会館	総合体育会館
参加者数(人)	752	719	733	725	720

(4) 高齢者生きがいの家運営費助成

町内会、自治会等を単位として、常時10人以上のグループが町内会館等を利用して定期的(週1回以上)に実益を伴った作業活動を行っている団体に運営費の一部を助成している。

表3-140 高齢者生きがいの家団体数 (団体)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
助成団体数	21	18	18	17	17

(5) 老人クラブへの助成

高齢者の生きがいを高め、日常生活を豊かにするために、地域で概ね60歳以上の概ね30人以上のグループに対し、教養の向上、健康の増進、社会奉仕活動やレクリエーション活動等の事業費・運営費の一部を助成している。

表3-141 単位老人クラブ数 (団体)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
助成クラブ数	314	309	300	295	285

(6) 老人クラブ連合会への助成

市内の老人クラブの取りまとめをし、全市的な行事などを行うよう、市老人クラブ連合会に事業費・運営費・健康づくり事業費の一部を助成している。

(7) 老人福祉センターに関すること

高齢者が健康で明るい生活を過ごすため各種レクリエーションの場を提供し、また教養の向上を目的とした各種生きがい講座を開催するため設置した6老人福祉センターの運営管理を指定管理者制度を導入して実施している。

表3-142 老人福祉センター利用者数 (人)

区 分	船越	本町	池上	鴨居	北下浦	秋谷	計
平成21年度	19,041	51,255	48,559	36,930	40,343	19,799	215,927
平成22年度	19,404	47,710	45,292	35,612	41,593	18,087	207,698
平成23年度	20,134	52,361	42,761	32,363	43,273	17,851	208,743
平成24年度	20,301	51,287	42,811	37,070	42,362	16,309	210,140
平成25年度	17,708	48,730	41,183	34,680	41,431	13,178	196,910

(8) 公郷老人憩いの家に関すること

高齢者が健康で明るい生活を過ごすため各種レクリエーションの場を提供し、また教養の向上を目的とした各種生きがい講座を開催するため設置した公郷老人憩いの家の運営管理を指定管理者制度を導入して実施している。

表3-143 公郷老人憩いの家利用者数 (人)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者数	4,607	3,935	3,849	3,720	3,601

## 2 高齢者介護予防事業

65 歳以上の高齢者に対し、要支援・要介護状態に陥らないため通所型あるいは訪問型の介護予防サービスを提供することにより、自立と生活の質の確保を図るとともに、生きがい、健康づくり、健康管理の向上を推進している。

表3-144 高齢者介護予防事業の実施状況

区 分		実施回数(回)	実人員(人)	延人員(人)	
通所型介護予防事業	運動器の機能向上	シニアはつらつ教室	341	429	3,751
		高齢者体力づくり教室	28	202	693
		関節らくらく教室	12	85	291
		骨密度アップ教室	12	67	338
		機能訓練(身体)	170	55	1,449
		機能訓練(言語)	24	17	280
		キュキュッと教室(尿もれ予防)	26	76	441
		お達者教室	271	3,412	5,302
		計	884	4,343	12,545
	栄養改善	男性料理教室	12	163	163
		のみこみらくらく教室	9	21	57
		栄養バランスアップ教室	22	72	132
		シニアのための栄養講座	11	142	142
		計	54	398	494
	口腔機能向上	お口うるおいアップ教室	10	79	79
		お口元気教室	57	310	549
		計	67	389	628
	認知症予防	スカッと脳力アップ教室	26	55	466
		スカッと脳力アップ大学講座	1	125	125
		グループリーダー養成講座	2	49	74
教室修了者効果測定		2	43	75	
計		31	272	740	
予訪問型事業	運動機能の向上	-	-	-	
	栄養改善	1	1	1	
	口腔機能の改善	-	-	-	
	認知症予防・支援	-	-	-	
	うつ予防・支援	5	1	5	
	閉じこもり予防・支援	-	-	-	
	計	6	2	6	
介護予防普及啓発事業	介護予防普及啓発講演会	1	168	168	
地域介護予防活動支援事業	ふれあい地域健康教室	22	-	753	
	介護予防サポーター養成講座	-	-	-	
	地域の底力アップ教室	16	-	618	
	介護予防サポーターフォローアップ講座	5	223	352	

### 3 認知症高齢者対策

認知症の一般相談、医療、看護、介護、福祉サービスの活用方法などについて専門医、保健師が相談に応じている。また、専門医や保健師による家庭訪問も行っている。

介護者に対して、負担の軽減と介護者同士の共感の場として、毎月1～2回認知症高齢者介護者教室及び年1回の認知症高齢者介護教室講演会を開催している。

また、平成19年度より認知症についての理解を広めるために、認知症サポーター養成事業を展開している。

表3-145 認知症高齢者対策事業の状況

(回)または(人)

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
定例相談	開催回数	16	23	22	24	24
	延人員	25	33	35	45	58
随時相談	延人員	933	1,423	1,255	1,940	1,623
訪問相談	延人員	25	20	2	10	4
	延人員	25	20	2	10	4
認知症高齢者介護者教室	開催回数	13	14	18	18	18
	延人員	268	110	74	79	69
認知症サポーター養成事業	開催回数	62	61	42	57	48
	養成人数	2,841	2,536	2,128	1,940	1,502
	認知症キャラバンメイト連絡会	112	※ -	21	21	22

※震災のため中止

### 4 高齢者虐待防止事業

高齢者虐待防止センターと地域包括支援センターが連携して、権利擁護の観点から関係機関とネットワークを構築し、高齢者の虐待防止、早期発見・早期対応を図っている。

表3-146 高齢者虐待防止事業の状況

(回)または(人)

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
高齢者虐待相談	実人員	128	168	147	160	164
介護者のメンタルヘルス相談	開催回数	24	28	42	41	38
	延人員	27	44	54	48	51
ネットワークミーティング個別会	開催回数	14	18	26	46	25
	延人員	100	130	133	275	154
ネットワークミーティング全体会	開催回数	1	1	1	1	1
	延人員	78	46	51	55	50
研修会	開催回数	4	4	3	3	3
	延人員	429	296	400	449	512
市民啓発講演会	開催回数	1	1	1	1	1
	延人員	212	144	65	109	112